

## 研究課題名「切除可能性分類からみた周術期輸血の膵癌に与える臨床的影響に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象 2001年4月1日～2017年3月31日までに当院で膵癌に対する膵切除を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

膵癌切除術は高難度手術であり、時に手術時間の延長や出血量の増加を招き、周術期輸血が必要となることがある。膵癌を含め他癌種において、周術期輸血は予後因子との報告があるが、メカニズムは明らかではない。近年、膵癌は切除可能性分類に基づいて治療方針が決定されるが、周術期輸血が予後に与える影響について、切除可能性分類に着目して検討する。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、病歴、膵疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、腹部CT画像等

試料：なし

4. お問い合わせ先本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学  
TEL: 052-744-2245 FAX: 052-744-2252

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・助教・園原史訓

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘